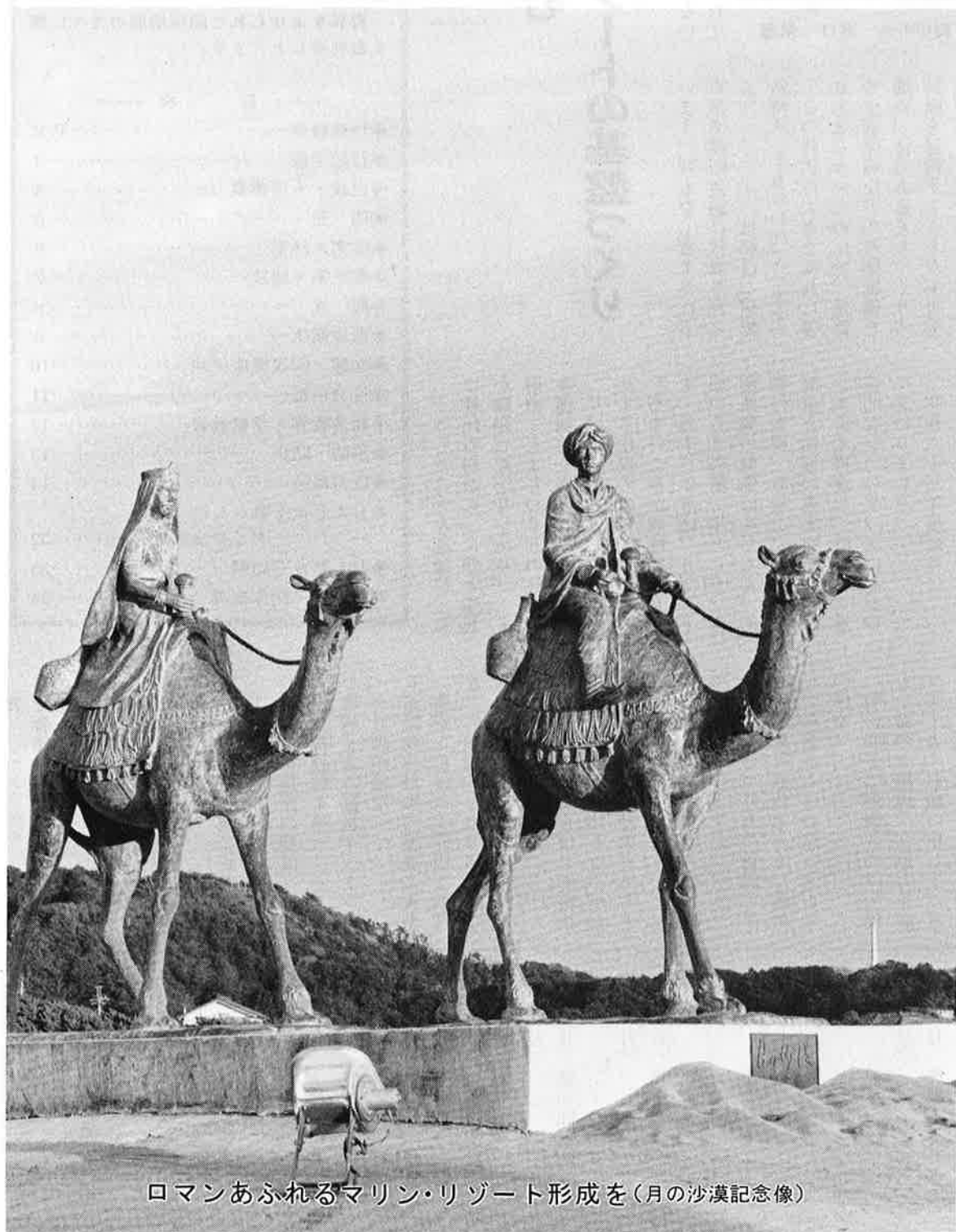


おんじゆく

第302号

町勢特集号

昭和63年12月



ロマンあふれるマリン・リゾート形成を(月の沙漠記念像)

はじめに

1988年の最後をかざる町勢特集号を発行します。この特集号は、町政の1年間のおゆみと新しい年の方針を統計資料とともに編集し、みなさんにお知らせするものです。

資料をよせられた関係機関の方々に厚くお礼申し上げます。

目次

- ◆行政報告……………P. 2
- ◆行政全般……………3
- ◆財政・水道事業……………4
- ◆開 発……………5
- ◆農業・漁業……………6
- ◆商工業・建設……………7
- ◆観 光……………8
- ◆環境衛生……………9
- ◆保健・国民健康保険……………10
- ◆社会福祉……………11
- ◆社会教育・学校教育……………12
- ◆消防・防災……………13
- ◆資料編……………14
- ◆おんじゆく暮らしのダイジェスト……………32
- ◆おんじゆくの唄……………33
- ◆官公署・団体施設……………34

行政報告

順調に進む

マリン・リゾートの基盤づくり



御宿町長 滝口 栄蔵

いま千葉県は、かつてない変革の時代を迎えようとして

います。間もなく着工される東京湾横断道路に代表されるように、二十一世紀は「房総新時代」ともいわれています。この時代の大きな流れに遅れをとらないためには、道路や生活環境などの基盤整備を進め、活力あるまちづくりの計画を遂行することが不可欠です。

こうしたことを念頭に、私は就任当初から「自然と産業が調和したマリン・リゾート御宿」をまちづくりの柱に、各種施策を展開してきました。リゾート地とは、そこで生活する住民のみなさんが暮らしやすいことが前提であり、ます。六十三年度は、リゾート地づくりの第一歩として、生活基盤の整備はもちろん、産業の振興、教育・文化の向上、健康と福祉の充実などをバランスよく推進し、町のもつ潜在的な能力のアップに心がけてまいりました。

昭和六十三年度は特に、マリン・リゾート計画の策定

○庁舎建設場所の確定と用地取得の推進

○月の沙漠記念館の建設

○農村地域の水道給水計画

○布施地区のゴルフ場建設の推進

○岩和田地域の観光レクリエーション開発計画の推進

○浦中海岸道路の建設

○地曳橋拡幅工事

○地域ぐるみ福祉ネットワーク計画の策定

○道路建設計画の推進（大型農道くC地区く立山く実谷）などに積極的に取り組み、これら全ての事業に実現の見通しがたつてきました。

これも、議会をはじめ町民のみなさんと一体となって行政を進めてきた結果であると深く感謝しております。

この「町勢特集号」は、町の一年間の歩みをふりかえり、新たなまちづくりの材料とすべく、統計数値とともに編集し、みなさんにお届けするものです。

町の姿をご理解され、今後一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和63年 町の動き

- 〔二月〕
 - 一日 渚の火祭り、元旦歩こう会
 - 四日 新年祝賀式
 - 一日 成人式
 - 二五日 海と山の子交流会（二十七日、長野県野沢温泉村）
- 〔三月〕
 - 八日 第一回定例議会（一四日）
- 〔四月〕
 - 一日 指定金融機関制度がスタート。御宿・岩和田小の学校給食を統合
- 〔五月〕
 - 一五日 海開きで太平洋綱引選手権などを開催
- 〔六月〕
 - 一九日 夷隅ふるさとまつり（県民の日記念）

行政全般

自然と産業が調和した マリリン・リゾート御宿



自然環境を保全しながら、地域振興を図るバランスのとれたまちづくりをめざします。

住民生活優先の町政を基調に、自然と産業が調和した「マリリン・リゾート御宿」をめざす。行政課題に取り組みます。

して、次のような重点事業、

設

町づくりの基本目標として、「マリリンリゾート御宿」の推進を図ります。町が中心となってリゾート法に則した計画を策定し、国や県などの協力を受けながら積極的に進めていきます。

○庁舎建設

行政の重要課題である庁舎建設については、保健センターや消防署などの建設をふまえ、町の総合防災施設として位置づけられており建設用地を決定のうえ、早期に着手します。

○月の沙漠記念館

町を代表する童謡「月の沙漠」を記念し、加藤まさを氏の展示室や御宿ゆかりの芸術家の資料室などを備えた施設を建設。また、月の沙漠記念像の周辺を月の沙漠公園として活用するため、野外ステージやイベント広場も設置します。

○農村地域へ上水道の給水

水は、生命の根源です。長年の懸案でありました布施・高山田地区の上水道事業を県の認可を受け、直ちに開始します。

○布施地区と岩和田地区の開

半島振興法を利用して、上布施・立山地区にゴルフ場を誘致するとともに、長年未開発となっていた県観光公社の岩和田・小浦地先にゴルフ場などのスポーツ・レクリエーション施設計画がまとまりました。

○浦中海岸道路の建設

県の保安林の一部解除を受け、海岸道路の新設に着手します。

○地曳橋の拡幅

夏季の大型車通行止めによる不便さと歩行者の安全確保を図るため、地曳橋の拡幅を実施します。

○「地域ぐるみ福祉」ネットワークづくり

社会福祉協議会を中心に福祉ボランティアの協力をあおぎ、きめ細かな福祉事業を展開します。

○広域的な道路整備の推進

現在開発中のB地区を縦断する道路(B道)から大原町山田地先のC道への接続道路建設を実現させ、大型農道を経由した茂原、千葉方面への交通網を拡大します。

二八日 第二回定例議会

【七月】

一〇日 町営プール開き
一四日 公共施設見学会
一八日 堺川生活排水処理施設竣工式

二〇日 県消防操法大会で新町第二分団優勝

海と山の子交流会(～二三日)

【八月】

四日 日墨修好百周年記念行事(マリガラテ号寄港(六日)御宿町花火大会)

【九月】

一日 防災訓練
七日 メキシコ・アカブルコ友好親善使節団訪墨(～一八日)

一九日 敬老会

二六日 第三回定例会

【一〇月】

二日 職員採用試験
一〇日 町民体育大会

【十一月】

二日 文化祭(～三日)
一五日 合同七つ子祝

二〇日 磯づり大会

【十二月】

四日 消費生活展
一六日 第四回定例議会

政 財

将来のまちづくりへ 積極的に財政投資

昭和六十四年度の地方財政は、景気の拡大基調を反映して、地方税、地方交付税などの歳入に全体としては増収が期待できるものの、歳出面では人件費、公債費などの義務的経費の増が見込まれています。

さらには、昭和六十三年年度までの暫定措置として引き下げられてきた国庫補助負担率の復元問題も国において、いまだ決着をみておらず、また、税制改革に伴う地方への影響が懸念されるなど、樂觀できない状況にあります。

このような状況下で本町の昭和六十四年度財政は、現在の経済情勢がそのまま推移すれば、地方交付税及び町税もいくらかの伸びが期待できるものの、歳出面では、義務的経費の増加に加えて、布施・高山田地区の水道事業や庁舎建設など大規模な事業が予定

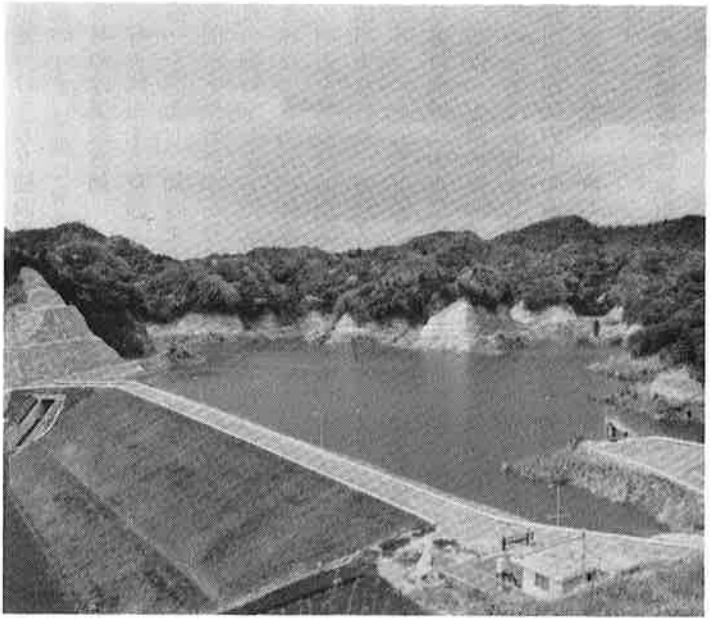
されています。

住みよい豊かな町「マリノリゾート御宿」を実現するため、健全な財政運営を基本として、積極的な投資事業の推進を図っていきます。

水道事業

未給水区域の解消へ全力

布施・高山田地区の水道申込受付を開始



布施・高山田地区を給水区域に加え、ようやく御宿全町民の水がめとなる「御宿ダム」

長い間の懸案でありました布施、高山田地域への給水計画につきましましては、「水道事業を拡張する場合は県知事の認可が水道法上必要」ということから、昨年来県当局と協議を重ねてまいりました。

このほどようやく認可を受けるための基本的事項につき、内諾が得られましたので今後の目標として、十二月中旬までに布施・高山田全地域の加入申込受付を完了し、この申

込状況等を参考にして配水管路の布設計画を検討し、六十四年度から工事が着工出来るよう努力してまいりたいと考えております。但しこの計画も「計画年次において、その普及率は原則として一〇〇パーセントとすること」と言う国の基準があるため、加入希望者が少なければ計画そのものが挫折してしまいますので、当該地域住民各位のご理解を賜りつつ、この事業実現に向け進め

てまいりたいと思えます。

昭和63年度上期の 経営状況

本年度上期の経営概要は水道料金などで計算される営業収支では、昨年度よりバランスが良好で赤字幅も約十四万円と僅かです。したがって営業外(補助金や受取利息)を含めた経常収支では約一千八百七十六万円の利益となります。

しかしこれは五月に料金の値上げを行なったためであり、水使用量は六十二年度上期(二七九、六三七立方メートル)と六十三年度上期分(二八一、九一四立方メートル)を比較しても二、二七七立方メートル、伸び率〇・八パーセントとなっております。加入三十八戸等考えあわせても伸び悩み状態となっておりますが、すでにB地区の第一期分譲も完了し、とりあえず二〇戸程度の加入も見込まれており、水道事業創設時の計画に向って明るい兆しが見えてきました。

又、七、八月分の水使用量は対前年度比二・四パーセント伸びの三、二九〇立方メートル増でした。

均衡のとれた快適な街づくりをめざす



分譲が開始された夷隅建設事業B地区開発

そして、長期的な展望に立って、快適、安全な空間の創造が基本である。

行政は

基礎づくり

大きな開発計画の場合、民間企業に全面的に委ねるといふ姿勢が随所にみられるが、本来の意味での地域発展につながる場合が過去の例にもある。地元経済への波及効果は小さなものになりかねない。

豊かで活力ある地域社会をつくるための町側（行政）の積極的な対応、地域の実情にあった細やかな基礎づくりが実施されなければならない。こうしたことを念頭において、町独自のリゾート構想に着手している。その開発プランの課題として次の点があげられる。

町づくりの

課題

その一、街全体のイメージが

一、地域の特性をよく把握し、影響調査、効果を分析し、積極的に対応する。

二、企業と組む開発計画では、企業のノウハウを吸収し独自のプロジェクトの参考とする。

三、ハイレベルのリゾート、一流志向のリゾートを形成する。

四、美術館、図書館といった知的施設、文化施設、体育健康施設を活用し、豊かなライフワークをもたせる。

五、有能な人材の集積、それぞれの分野でのプロの育成発掘をする。

マリンリゾート形成のため、いま一度銘記したいことは、利用客が快適に楽しく、愉快に過ごせるように利用客を暖かくもてなす気持、心構えを地域の一人ひとりが持つこと。それによって、より以上の生活の質や快適性を求める人々へのサービスを忘れないこと。開発プランから実施へむけてのスケジューリングは御宿の歴史の継承であり、次世代への遺産づくりにつながるかなければならないものと考えられる。

六十二年六月の総合保養地域整備法（リゾート法）の成立により、リゾートの指定をめぐり全国的に様々な構想が策定され、研究会などが生まれている。

当町の場合、リゾートの基本理念は、自然と産業が調和したマリンリゾート御宿の形成をめざしている。その場合の舞台の主役は「海」である。そして最終的には、町全体が

マリンリゾートタウンとして統一性（アイデンティティ）をもって発展していくことが究極の目標である。

本来リゾート開発は、そこに住む人々が豊かで生き生きと生活し、地域によって育ぐまれてきた歴史や文化、自然環境を大切にし、産業——特に海のリゾートづくりのためには、漁業との整合性を持たせた開発が不可欠である。

農 業

「うまい米」づくりへの

移行進む

昭和六十二年度からスタートした水田農業確立対策により米の生産調整が行われ本年は六十七ヘクタールの転作等が実施され国の割当に対し一四パーセントの達成率となりました。

今年の稲作は全国、千葉県とも作況指数は九七と不作となり農家にとっては非常に厳しい状況です。

御宿町の状況を見ると全国



9月の長雨で機械を使えず、人手に頼る稲刈となった

的に高まる「うまい米づくり」のなかでコシヒカリの栽培面積が六五パーセントを占め年々高まってきています。

作況は防除の徹底もあり病害虫の発生は多く見られず斑点米による等級の格下げは少数であった。しかしながら9月の長雨により倒伏のため穂発芽や変色米による品質の低下が多くあった。出荷量も前

年の九九パーセント程度となる見込です。

来年度の転作割当は今年度と同じく二四パーセントとなる予定です。

米価の低迷や外国からの農産物輸入問題をかかえる一方で、うまい米の需要は高まって来ています。このためうまい米といわれる奨励米の作付を多くするとともに防除の徹

漁 業

漁業経営の

充実強化を図る

昭和六十三年年度の漁港事業は、岩和田漁港局部改良事業により、船揚場及び物揚場の改良を実施。また、この事業と併行して、新沿岸漁業構造改善事業により、岩和田漁協の船揚用シラの設置、御宿町漁協の漁具倉庫の設置を実施しています。

なお、岩和田漁港では、九月の台風による東防波堤の災害復旧事業を六十三年度中に実施する予定です。

昭和六十四年度の重点事業

として共同利用施設である岩和田漁港の物揚場改良及び停泊地の浚渫をし、漁業支出の軽減を図ります。また、御宿町、岩和田両漁協によるアワビ、サザエの稚貝放流を行い、磯根資源の造成等も計画しています。

これらの事業により、近年の消費者嗜好である中高級魚貝類資源の確保、培養。管理するための技術の修得。漁業者の漁場管理を推進します。

さらには、観光産業との関

底やコストダウンによる経営の安定を図らなければなりません。

昭和六十三年年度の農林業関係の主な事業をあげると、上布施の芝堰改修、農業公社牧場設置事業による牧草地の造成、林道事業による向井線の舗装、実谷線の改良などが行われました。来年度も農業基盤の整備を進めていきます。



国・県の補助事業を活用して基盤整備を進めます

連を強化し、地域特産物を開発するなど、水産物の有利販売の促進、流通体制の整備を図り、安定した漁業経営の育成をめざします。

商工業

商店経営に変化の兆し

新・旺盛な設備投資

国の経済は、個人消費や企業の設備投資が活発に行われ、国内需要が堅調に推移しています。こうした景況は地方経済にも波及し、当町においても半島振興法による税の軽減

措置など、また地域雇用開発等促進法により、商店の新規出店や改築などの動きがみられました。

当町の場合、県の制度融資などを利用する余地がまだ残

されています。また、有利な制度を利用され側面から内需の振興を図る必要があります。

産業の活性化を（消費生活展12月）



農村地域への上水道の導入によって、企業の進出の条件が整ってくるものと思われま

す。一方、新しい商業活動として、準大型スーパーの出店など商工業を取りまく環境が徐々に変わります。

建設

住民生活・産業振興に

欠かせない道路整備

観光との関わりが多い当町の商業については、環境整備、街路灯、花だん、サイン、ロゴの活用をし、町全体の売込みキャンペーンが必要です。当町の小売業は比較的小規模零細な商店が多く、経営効率が悪い点が指摘されています。このため、

- 一、個々の店の質の向上
 - 二、地域の特性を活かした商店街の近代化
 - 三、消費者ニーズに適応した魅力ある商店街づくり
 - 四、購買力の流出防止
 - 五、後継者づくり
 - 六、観光産業との連携
- 以上のような点に留意し、商店街診断、モデル商店街の指定をうけ、リゾートにふさわしい商店街形成を目指す必要があります。

日常生活に重要な役割を果たしている町道は、毎年住民代表の意見を尊重し、改良、舗装、側溝の整備計画を策定し実施しています。

しかし、生活の多様化に伴い、住民要望は多く、それらを全部受け入れることはできませんでしたが、昭和六十四年度も夏季の交通渋滞の解消を図るとともに、未改良、未舗装の整備を実施、また、前年度に引き続き側溝の整備を進め、総合的に住みよい町

実施計画の

達成に全力

づくりに取り組みます。河川については、護岸の未整備区間、河床等の整備促進を図ります。

昭和六十四年度の重点施策は、継続事業で今後町の動脈道路として位置づけている浦中地先の新設道路と地曳橋拡幅を行い、交通渋滞緩和と産業の振興を図ります。また、



新設される海岸道路をつなぐ遊月橋竣工

地曳橋に接続する清水川周辺の歩道の整備も行います。布施、高山田地域は、上水道事業の開始が見込まれており、道路改良などの工事は、町三か年計画や要望、給水区域の計画などを総合的に調整し、整備にあたりま

す。他地域の生活関連道路の整備については、町実施計画最終年度なので目標達成できるよう努めます。

河川改修事業は、裾無川下流から河床の整備、継続による護岸の推進と丸正青果店脇三十二号橋の架替などを実施します。

光 地道に基礎づくり リゾート形成への序曲

観光立町御宿を標榜するからには、真の観光振興が地域づくりそのものでなくてはなりません。

季節型、日帰り型の典型的な夏期観光から脱皮し、年間を通して観光客を誘致するこ

とが長い間の懸案となつてい

ます。こうした懸案を解決するには、海洋性レクリエーション

の見直しや交通体系、受入れ施設の整備が欠かせません。

このほかにも誘客の要素として、



海開き・太平洋綱引選手権(5月)

- 一、町の歴史を大切にする。
- 二、ロマンを大切に
- 三、素材を活かす。
- 四、風土や民風を大切に
- 五、風光明媚な資源やかくれた資源を活かす。

こうした要素を活かして、発掘しながら、出逢い、やすらぎ、くつろぎ、ふれ合いなどといった演出をし、訪れる人々を感動させ、満足させる仕掛けが大切です。また、思いやり、親切なサービスを提供するという気配りを考え、施設づくりを進めていく必要があります。更に環境をきれいにするといいことで、広い階層の人々の協力をえながら取り組んでいます。

道路、駐車場の改良や確保を進め、渋滞の解消、路上駐車



若者に人気のマリンスポーツ

かくれた資源の再発見

地道な施策ではありませんが花の植栽、植樹、ベンチや日除け、観光ガイドステーションの設置などを行い親切です。すらぎを与える心づかいをしていくことが大切です。

また、文化、教育、芸術面にも活用できる施設として、月の沙漠記念館を建設し、ロマンあふれるリゾート形成への第一歩としたいと考えます。

新しい年の施策

六十三年はリゾート元年といわれ、全国的にリゾートづくりの気運が盛りあがってきました。六十四年度では、こうした背景を念頭におき、リゾートの基礎づくりを進めていきます。

リゾートの条件として、環境の浄化によって、地域に住む人に住みやすさを提供する

ことが大切です。前年にひきつづいて、植栽(花や植樹)、標識やベンチ、フ

ラワーポット、照明、歩道などを重点に整備していきます。

また、誘客と町活性化に欠かせない多彩なイベントを企画し、継続していきます。

昨年が冷夏、長雨で、冷夏被害対策特別融資などが行われ、天候に左右されやすいモロさを露呈しました。今後はこうした点も考慮し、施設づくりを進める必要を痛感しています。

車利用の観光が益々増える状況であり、幹線道路網や各観光地を結ぶアクセス道路の整備を進めていきます。

最後に施設づくり、イベントなどハード、ソフト両面のテコ入れをするにしても本町の特性を忘れては意味がありません。そこで、いま一度、町の特性を考え直して街づくりをすることが望まれます。

〈町の特性〉

- 一、恵まれた海、砂浜、岩礁のロケーション
- 二、緑の多い街並み。
- 三、地域住民の一体感。
- 四、若い人の街づくりの熱意。
- 五、歴史の裏付け。

町づくり

住みよい環境づくり

環境衛生行政について今年度実施してきました主要事業をふりかえってみたいと思います。

まず第一に「ゴミのない町御宿」の創出を目標に、じん芥処理対策としてゴミカレンダーの全世帯への配布、町指定可燃・不燃ゴミ袋の使用開始、公共施設見学会の実施、衛生委員さんの協力を中心としたゴミモデル地区の設定など町民の皆さまの大きな協力のもと

と、きれいな町づくりを行ってきました。

そして第二に花いっぱい運動の全般的な展開です。各区にモデル花壇を設置し、老人クラブの皆さんによる心ある行き届いた管理をしていただき、商工会青年部や月見草を咲かせる会の皆さんには、町内全域に少しでも多く花を咲かせるようご協力をいただきました。

第三には水をきれいにする



水環境の改善を目的に堺川生活排水処理施設が完成(6月)

運動の拡大です。堺川生活排水処理施設の完成をみて一段と水環境改善への意識が高まりを見せています。

第四に公衆トイレなど公共施設の徹底的な維持管理をあげましたが、かなり改善されてきたと思えますがもう一歩であったと反省しております。

より深くより広く

64年度事業計画

新年度事業につきましては今年度の施策をもっと深くほりさげ、広く充実したものにしていこうとを基本認識として、①「ゴミのない町御宿」の創出については粗大ゴミ(テレビ、冷蔵庫、洗濯機など)の回収を全区域にわたり年二回実施することを考えております。

②の花いっぱい運動については、老人クラブの皆さんをはじめ各種団体の強い協力のもと全地域にさらに広めていくと共にフラワービレッジ構想の具体的検討に入っ行ってきたいと思えます。

③水環境の改善につきましては、生活排水処理施設の設置及び、小型合併浄化槽補助事業の導入など、地域に適合した浄化方法を検討し、同時に河川清掃による河川環境の改善を心がけて行きたいと考えています。

“まちをきれいに”

アメニティ会議

去る十二月六日、開かれまして衛生委員会においてアメニティ会議の開催が決定されました。これは衛生委員の皆さんを中心に二カ月に一回、

定期的に開催されるもので、会議内容は、環境、衛生、保健問題と幅広く展開される予定です。町をきれいにするための主軸となる会議になると思っています。

私たちの身のまわりの環境を少しでも住みよい環境にしてこそ、誰れもが「住みたい」行ってみたい町になるのではないかと。

六十四年度も課員一同、心新たに、きれいな街、みんな健康・元氣な町づくりに向けて前進して行きたいと思えます。町民の皆さまの尚一層のご指導、ご協力を切にお願い致します。

アメニティ運動の勧め

美しく、ゆとりがあって、自然環境にも恵まれ、さらに災害も犯罪のない街は、住民にとって理想的な生活環境となります。

こうした快適さ||アメニティが、いま求められており、気候、風土、自然、社会環境、住民気質など、人間的な住みよさの追求が盛んに行われています。

わたしたちの家庭から排出されるゴミや生活排水を正しく処理したり、自然環境を守ることなど、身近なところから快適さを創り出す「アメニティ運動」に町ぐるみで取り組むみたいと思えます。

健康なときこそ 健康診を

成人病は「習慣病」とも呼ばれ、悪い生活習慣の積み重ねが発病の大きな誘因だと言われています。長い無症状期の後発病し、その後も急性悪化と回復のくりかえしという慢性の経過をたどり次第に身体機能が失われていくものです。

改善はもちろんのこと、隠れている病気を発見するためだけでなく、成人病ではない事を確認し、安心して生活を送るためにも健康診断を受けることが大切ではないでしょうか。

このように「自分の健康は自分で守る」という考え方を、持つて積極的に健康づくりに励み、長寿社会をたくましく生き抜きたいものです。

従って、日頃の生活習慣の



成人病予防は、生活習慣の見直しと健康診断の受診から(基本健康診査)

町では、みなさんの健康づくりのお手伝いとして、健康相談や各種成人病健康診を無料で実施していますので、自分自身の健康管理のために、是非ご利用下さい。

国民健康保険

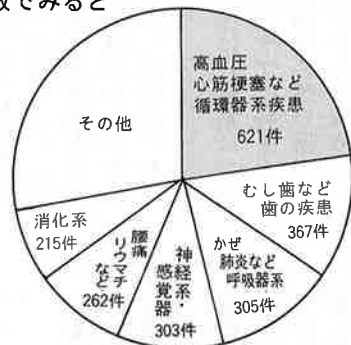
高血圧が受診件数・医療費ともにトップ

— 病類別疾病統計 —

御宿町国民健康保険病類別疾病統計

(昭和63年5月受診分)

◆件数で見ると



◆医療費で見ると

- ①循環器系(高血圧など) 1,391万円
- ②新生物(ガン・肉腫など) 893万円
- ③腰痛・リウマチなど 585万円

◆(5月)1か月に

- 総受診件数 2,694件
- 医療総額 5,443万円

国民健康保険加入者が、どのような病気で医療機関にかかっているかを把握するため、毎年五月受診分について実施する「病類別疾病統計」の内容をお知らせします。

今年の五月一ヵ月間に病気で医療機関にかかった件数は、町内で二千六百九十四件。支払われた医療費は五千四百四十三万円でした。

御宿町の国保加入者は、五月末現在、四千三百二十九人です。おおよそ二人に一人は何らかの病気等で医療機関にかかったこととなります。

主な病名を件数別にみると、

高血圧などの循環器系疾患が最も多く、全体の二三・一%を占め、次いで歯の疾患、呼吸器系の疾患となっています。

また、医療費順にみると、件数の多い高血圧が一番多く二五・六%、次いでガンや肉腫等の新生物が一六・四%となっています。

これを郡内他町と比べると消化系疾患が約一%ほど常に高いのが特徴です。この内容としては、胃及び十二指腸疾患が主であり、今後、バランスのとれた食生活の再チェックが必要と思われます。

毎年一定率以上の伸びを示す医療費。そんな中で無保険険も伸びていくわけです。

国保運営の健全化を堅持し、みなさんが安心して医療機関にかかれるようにしていくために、町が実施する各種健康診を積極的に受け、早期発見、早期治療をモットーに自身自身の健康管理に努めることが大切です。

それが保険税を軽減し、国保運営の安定化につながります。健康も家計も、守るのはあなたです。

社会福祉

“地域ぐるみ”

福祉活動の推進

近年における福祉需要は、高齢化社会の急速な到来、核家族化の進行などにより、福祉に対するニーズは、ますます増大し、かつ多様化する傾向にあります。

このような環境の中で、福祉施策の推進については、従来の物質的、経済的な援助だけでなく、地域ぐるみの福祉活動を併せて行っていくことが必要です。



高齢化社会を迎え、よりきめ細かな福祉活動が望まれています（ふれあい会食会）

御宿町では、昭和六十二年度より「ふるさと千葉五ヵ年計画」に基づき、御宿町社会福祉協議会とともに地域ぐるみ福祉ネットワーク事業を進めています。この事業が組織化されますと、地域の福祉需要に、より効果的に、きめ細かく対応できると確信します。

現在の状況は、町を単位とする基本福祉圏、学校区を単位とする小域福祉圏（岩和田地区、布施地区）二地区に設立され、それぞれ活動しています。また、昭和六十四年度には、御宿小学校区を単位とする小域福祉圏の設立をめざしています。

このように公私協働の福祉サービスネットワークのもとで、より一層住民のみなさんのニーズと的確な情報の把握につとめ、今後の福祉需要に対応していく考えです。

また、町で実施している在宅福祉事業の「ねたきり老人入浴サービス」「ふとん乾燥」「家庭奉仕員の派遣」も内容を充実させ、各種事業、制度の拡充と周知徹底を図り、心のかような福祉活動を展開していきたいと考えます。

福祉

◇心配ごと相談

毎月2日、12日、22日に開催。(ただし、日曜・祝日の場合は前日) 町社会福祉センター
【相談員】 民生・児童委員、行政相談委員
 人権擁護委員など。秘密は厳守。

◇シルバー110番

千葉県では、高齢者やその家族などの心配ごと相談に応ずるため、千葉県高齢者総合センター（シルバー110番）を常設しています。相談電話は無料です。

【電話のかけ方】

電話局の106番をダイヤルして、自分の氏名を告げ「千葉（27）0110」または「シルバー110番」を申し込むと電話料は無料となります。



情報コーナー

保健

— 町が実施する 成人対象の保健事業 —

- 【血圧相談】 毎月第2金曜日、公民館
- 【健康相談】 毎月第1木曜日、新久井青年館
第1土曜日、岩和田青年館

- 【基本健康診査】
- 【胃がん検診】
- 【子宮がん検診】
- 【乳がん検診】
- 【住民結核健診】

毎年1回



— 休日当番医 テレフォンサービス —

夷隅郡市の休日当番医は、次の電話番号でご案内しています。

63-0411

○受付時間 午前9時～午後5時

社会教育

生涯学習の

拠点として活用を

公民館では今年度、三十の教室、クラブを開いています。特に情報化時代に対応してパソコン教室を開設したところ、大変好評をえています。

「公民館の利用者は高齢者が多い」といわれていますが、

年々若い年齢層が各教室に参加してきています。より幅広い年齢層の参加が望まれます。これからは社会状況の変化とともに、町民のみならずの学習意欲は高まり、質的にも高度なものが求められていく



時代に即応して開設されたパソコン教室

◆公民館の主催事業

事業名	対象	回数
高齢者教室	高齢者	7
母親学級	母親	7
青年教室	青年	5
絵画教室	成人	10
手芸教室	成人	10
七宝焼教室	成人	10
茶道教室	成人	10
短歌教室	成人	10
きもの着付教室	成人	10
俳句教室	成人	10
習字教室	小学生	22
華道教室	成人	10
料理教室	成人	10
親子教室	親子	6
パソコン教室	高小生 以上	22
ゲートボール教室	高小生 以上	20
書道教室	成人	22

○その他子供会インリーダー講習会、成人式、文化祭、成人教養講座、子ども映画館

学校教育

人間性豊かな 児童・生徒の育成

ものとして予測されず。公民館は生涯学習の拠点として、学習の援助や各種の相談に応じられる体制づくりと既設の教室等の充実化を図らなければなりません。

昭和六十四年度は、次のような目標を掲げ、人間同士のふれあいのある公民館活動を通じて、人間形成の一端を担っていきたいと考えます。

- 文化団体、グループ等を育成助長し、文化活動を促進する。
- スポーツ・レクリエーション活動を促進し、住民の体力向上に努める。
- 住民が気軽に利用し、ふれ合いを深めるために、施設、設備の充実と環境の整備改善につとめる。

御宿町の学校教育は、夷隅郡五町による夷隅郡教育委員会と共同で町の特性をいかした人間性豊かな児童、生徒の育成につとめています。

昭和六十三年度は、二十一世紀を担う子どもたちのため各種教育機器、備品の整備をはじめ、教育施設の改善を図りました。

特に、社会問題ともなった御宿小学校校舎のアスベスト除去工事を一千六百万円を投

じて実施したほか、岩和田小学校グラウンド周囲のフェンス、ブロック積などの教育環境の整備にも取り組まれました。

また、地域の隔りを解消するため、御宿小と岩和田小学校給食の統合も実施しました。今後も教育現場や父母などの声を反映した教育施策を展開してまいります。

なお、六十四年四月から御宿小学校に言語治療教室が開設されます。

消防・防災

災害に強いまちづくりへ

戸別受信機や消防施設を整備

昭和六十二年十二月十七日

午前十一時八分、千葉県東方沖地震発生（マグニチュード6.7、震度5）。県内各地で大きな被害を受けたことは、みなさんの記憶にも新しいことと
 思います。

当町でも四百六十三世帯の方が被害をうけました。

このような突然の災害から発生する被害を未然に防ぎ、最小限に食い止めるには、日



園児たちも参加して実施された大規模地震避難訓練（2月）

頃から防災に対する意識と心構えが大切です。特に大規模な震災に対する安全点検や避難訓練には、必ず参加するよう心がけてください。

地域防災担う

二百六十五名

【消防】本町の消防団は、一本部、八分団、二百六十五名の消防団員で構成されています。住民の安全を守るため、

毎月二回の消防車の点検、出初め式、海岸警備、防災訓練、防火パレード、歳末夜警など日夜尽力しています。

また、消防施設設備の充実を図るため、第十分団に新規消防車一台を更新配置。消防水槽を二基、実谷と上布施に設置します。

63・64年度で

戸別受信機を設置

【防災行政無線戸別受信機】

昭和六十二年四月に開局し屋外拡声受信機（子局）と地上移動局で運営しています。

六十三年度から二か年計画で屋内で受信できる戸別受信機を希望世帯に設置するなど防災に強い町づくりに一層の充実を図ります。

消火栓は

現在58か所に

【消火栓】

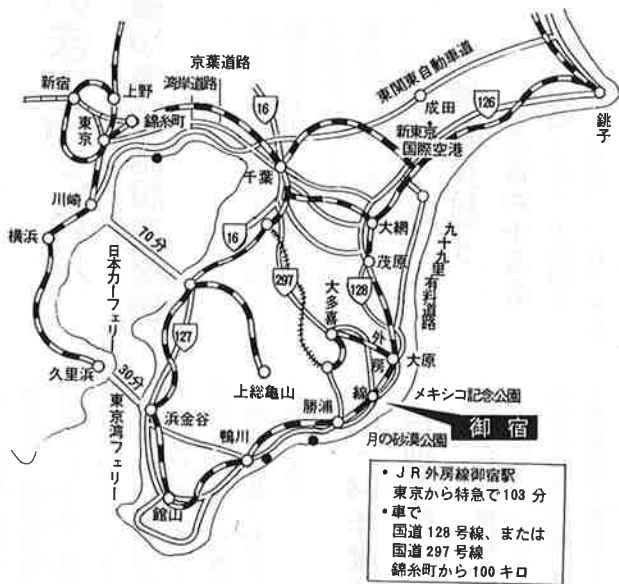
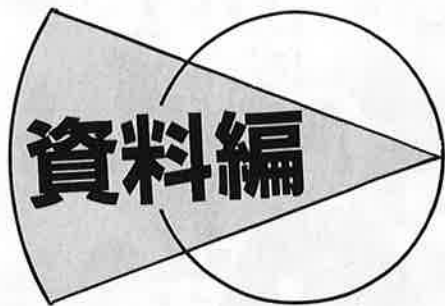
昭和六十三年十二月現在の消火栓の設置場所は下表のとおりです。日頃から、自宅近くの消火栓の場所を知っておくことも大切です。

消火栓の設置場所

昭和63年12月 現在

番号	消火せん所在地	地区	番号	消火せん所在地	地区	番号	消火せん所在地	地区
41	鷹中	丈六軒町	21	井上	之保	1	元湯	泉
42	長田	雄六軒町	22	天津	久保	2	式田	浜
43	立石	明男六軒町	23	白鳥	久保	3	大谷	浜
44	柳健	吉(補正堂)六軒町	24	御宿	久保	4	米本	浜
45	幸保	常礼次六軒町	25	南才	久保	5	米本	浜
46	清水	川征六軒町	26	遠藤	久保	6	春日	浜
47	小川	元征六軒町	27	町營	久保	7	浅野	浜
48	大野	元芳六軒町	28	秋葉	久保	8	渡辺	須賀
49	大水	元八郎六軒町	29	滝口	新賢	9	渡辺	須賀
50	水野	元定六軒町	30	滝口	新賢	10	伊藤	須賀
51	水原	忠六軒町	31	伊藤	新賢	11	本吉	須賀
52	専修大学	セミナーハウス六軒町	32	鈴木	新賢	12	佐伯	須賀
53	木原	政吉六軒町	33	大天	新賢	13	渡辺	須賀
54	江中	政芳六軒町	34	の守	新賢	14	賀三	須賀
55	畑村	敏夫六軒町	35	鶴岡	新賢	15	滝口	須賀
56	嶋村	昭夫六軒町	36	松谷	新賢	16	日高	須賀
57	藤井	昭夫六軒町	37	水谷	新賢	17	中央	須賀
58	埋田	弘六軒町	38	鈴木	新賢	18	三上	須賀
			39	新板	新賢	19	君大	須賀
			40		新賢	20		保

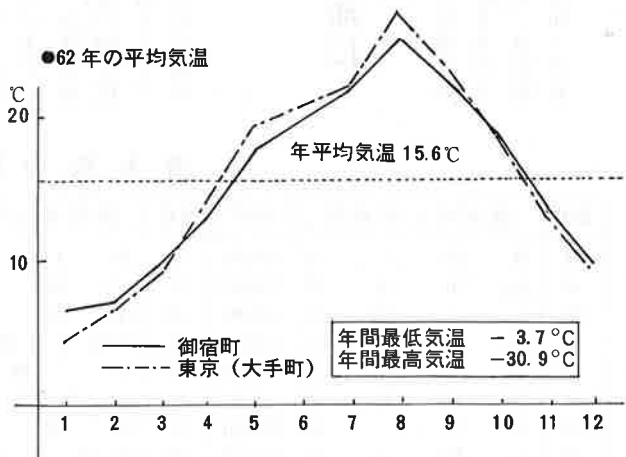
数字でみる おんじゅくのすがた



- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。
その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。
東経140度21分23秒。北緯35度11分2秒の地点にある。
- 面積……25.05 km²

●年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
61	14.8	32.8	-3.2	1966.0
62	15.6	30.9	-3.6	1873.5



●62年の月別気温

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温		6.6	7.1	9.8	13.2	17.9	19.8	23.8	25.3	22.4	18.6	13.2	9.4℃
最高		17.7	18.3	18.9	25.7	25.9	25.8	29.7	30.9	30.0	26.8	23.7	20.5℃
最低		-3.6	-0.8	-2.1	1.0	10.3	13.9	16.6	19.4	15.5	12.7	4.6	0.5℃
降雨量		83.0	56.5	140.0	96.5	134.5	188.5	175.5	134.0	449.0	243.5	96.0	76.5mm

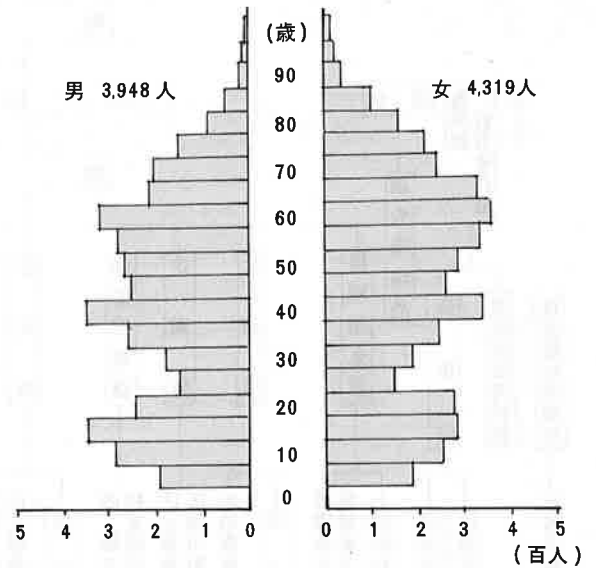
●行政区別世帯数と人口

(63.10.1)

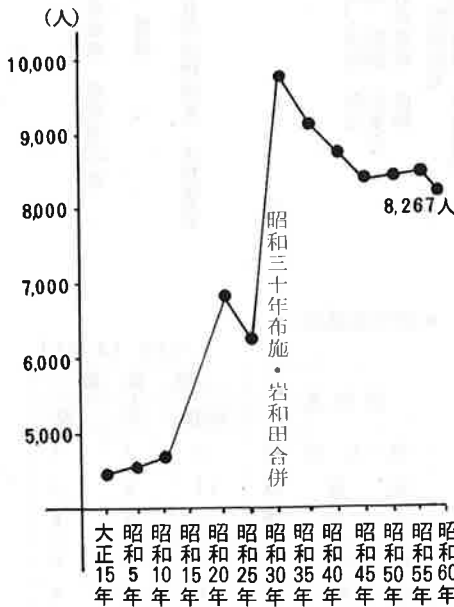
区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	332	474	506	980
浜	255	415	458	873
高 山 田	83	155	159	314
久 保	355	564	661	1,175
新 町	452	641	723	1,364
六 軒 町	238	358	370	728
岩 和 田	456	775	814	1,589
実谷・七本	130	247	266	513
上 布 施	209	391	398	789
合 計	2,510	4,020	4,305	8,325

(単位：人)

●5歳階級別人口(昭和60年国勢調査)



●人口の動き(国勢調査)



●人口の推移(国勢調査)

年次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度人/km ²	面 積 km ²
		総 数	男	女			
大正15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448	9.85
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468	〃
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487	〃
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693	〃
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629	〃
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389	25.04
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370	〃
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352	〃
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338	〃
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339	25.05
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339	〃
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330	〃

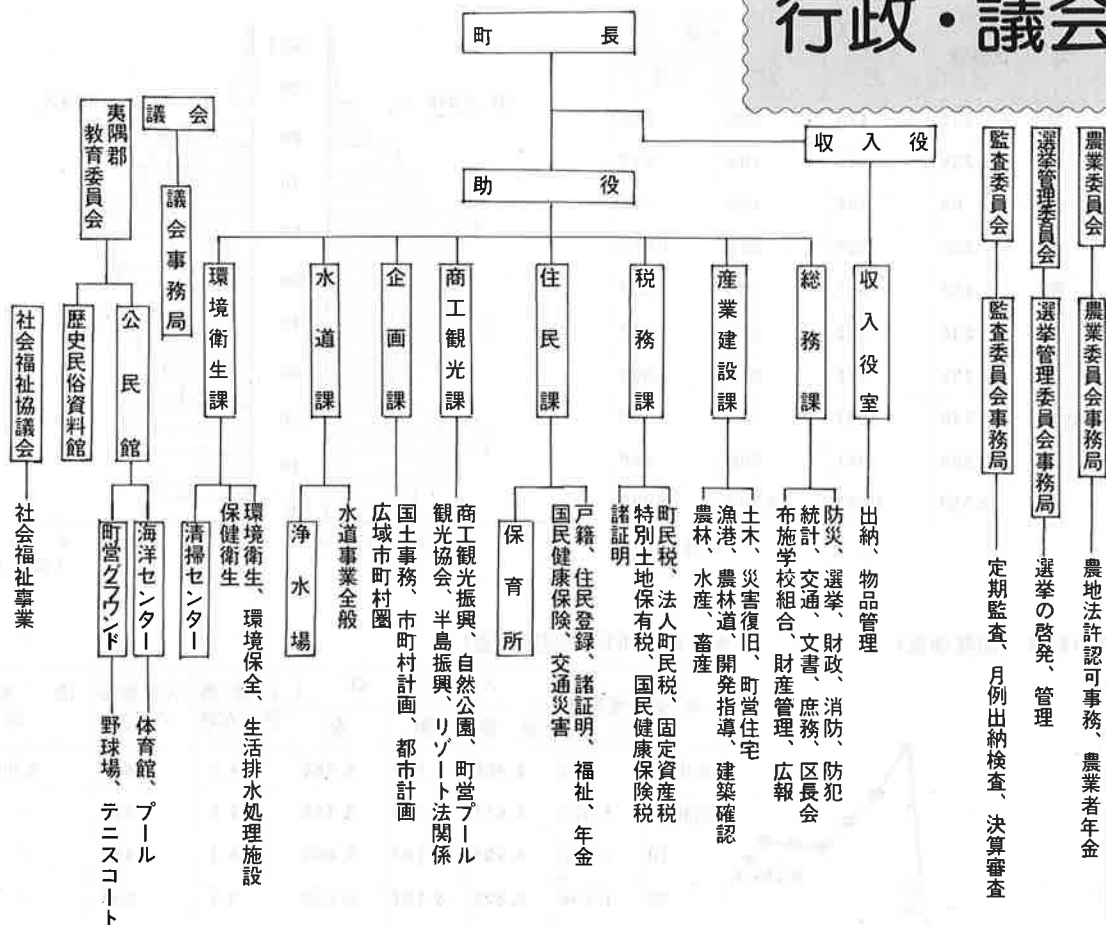


●人口動態

年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和 30	184	74	110	19	68	9	484	784	△300
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△132
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△ 57
60	76	88	△12	4	45	8	319	351	△ 32
62	56	92	△36	5	28	11	269	351	△ 82

●行政組織の状況

行政・議会



●議会

- ・議員定数 16人 (法定数22人)
- ・常任委員会数 3
 - 総務常任委員会 (6)
 - 産業建設常任委員会 (5)
 - 教育民生常任委員会 (5) ()内委員数

●課別職員数

(63. 12. 31)

課室名	課員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	11	8	3
企画課	2	2	0
産業建設課	8	8	0
住民課	9	5	4
税務課	7	4	3
商工観光課	4	4	0
水道課	6	5	1
環境衛生課	13	11	2
農業委員会	1	1	0
議会事務局	2	2	0
公民館	6	4	2
保育所	19	0	19
社会福祉協議会	1	1	0
合計	91	56	35

●議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請願 陳情 件数
	回数	会期	町長 提出 議案	議員 提出 議案	回数	会期	町長 提出 議案	議員 提出 議案	
58	4	11	46	5	3	3	5	1	5
59	4	11	46	5	3	3	5	1	5
60	4	12	40	6	4	4	2	2	3
61	4	10	46	6	2	2	4	1	3
62	4	14	35	12	4	4	9	7	6

●投票区別有権者数 (63年9月現在)

区分	投票区域	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,490	1,159	1,331
第2投票区	須賀・浜・高山田	1,682	796	886
第3投票区	岩和田	1,239	586	653
第4投票区	上布施	593	277	316
第5投票区	実谷・七本	401	194	207
総数		6,405	3,012	3,393

●歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務) 執行者)	大地重直	昭和30. 3. 31	昭和30. 5. 15
1	井上文吉	// 30. 5. 16	// 42. 5. 14
2	岩井敏夫	// 42. 5. 15	// 54. 5. 14
3	高梨秀治	// 54. 5. 15	// 62. 5. 14
4	滝口栄蔵	// 62. 5. 15	在任中

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30. 10. 18	昭和38. 10. 17
2	岩井敏夫	// 39. 1. 10	// 42. 4. 17
3	佐藤清司	// 42. 12. 20	// 45. 10. 31
4	浅野興典	// 47. 4. 1	// 54. 5. 14
5	池田覚道	// 55. 3. 1	// 62. 5. 14
6	大谷良司	// 62. 6. 15	在任中

●歴代議長(町村合併後)

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野要	昭和30. 3. 31	昭和32. 9. 30
浅野航海	// 32. 10. 1	// 34. 9. 30
新井清治	// 34. 10. 1	// 40. 9. 30
関龍雄	// 40. 10. 1	// 44. 9. 30
中村喜一	// 44. 10. 11	// 48. 10. 31
江沢富士松	// 48. 12. 4	// 50. 9. 30
岩崎栄一郎	// 50. 10. 1	// 54. 9. 30
石田行雄	// 54. 10. 1	// 56. 9. 30
井上泰爾	// 56. 10. 1	// 58. 9. 30
井上浩一	// 58. 10. 1	// 60. 3. 12
白鳥時雄	// 60. 4. 16	// 62. 9. 30
関野正治	// 62. 10. 1	在任中

●歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29. 2. 13	昭和30. 10. 17
2	佐藤清司	// 30. 10. 18	// 42. 12. 19
3	浅野興典	// 42. 12. 20	// 47. 3. 31
4	和田正美	// 47. 4. 1	// 54. 5. 14
5	岩瀬剛	// 54. 7. 1	// 62. 5. 14
6	吉田庸二	// 62. 6. 15	在任中

●最近の選挙における投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
町長選挙	S 5 8. 4. 2 4	6,335	2,977	3,358	5,556	2,550	3,006	87.70	85.66	89.52
参議院議員 "	S 5 8. 6. 2 6	6,421	3,011	3,410	3,799	1,759	2,040	59.17	58.42	59.82
町議会議員 "	S 5 8. 9. 2 5	6,382	2,997	3,385	5,838	2,693	3,145	91.48	89.86	92.91
衆議院議員 "	S 5 8. 1 2. 1 8	6,436	3,014	3,422	4,973	2,302	2,671	77.27	76.38	78.05
県知事 "	S 6 0. 3. 2 4	6,222	2,914	3,308	2,769	1,287	1,475	44.39	44.17	44.59
衆議院議員 "	S 6 1. 7. 6	6,374	3,001	3,373	4,899	2,240	2,659	76.86	74.64	78.83
参議院議員 "	S 6 1. 7. 6	6,374	3,001	3,373	4,849	2,222	2,627	76.07	74.04	77.88
県議会議員 "	S 6 2. 4. 1 2	6,343	2,970	3,373	3,692	1,683	2,009	58.21	56.67	59.56
町長 "	S 6 2. 4. 2 6	6,359	2,981	3,378	6,019	2,790	3,229	94.65	93.59	95.59
町議会議員 "	S 6 2. 9. 2 0	6,398	3,011	3,387	6,004	2,789	3,215	93.84	92.63	94.92

財 政

●昭和62年度一般会計歳入歳出決算







歳 入 (単位 千円)

科 目	年 度		比 較		
	62年度 決算額①	61年度 決算額②	①-②③	③/②	
1. 町 税	642,623	622,021	20,602	3.3%	
2. 地方譲与税	28,689	27,421	1,268	4.6	
3. 娯楽交付税	19,470	18,549	921	5.0	
4. 自動車交付金	32,381	26,088	6,293	24.1	
5. 地方交付税	534,717	518,741	15,976	3.1	
内 訳	普 通	474,269	463,247	11,022	2.4
	特 別	60,448	55,494	4,954	8.9
6. 交通安全交付金	2,273	1,181	1,092	92.5	
7. 分担金・負担金	53,136	111,920	△58,784	△52.5	
8. 使用料	7,772	8,116	△344	△4.2	
9. 手数料	9,692	9,438	254	2.7	
10. 国庫支出金	126,526	103,554	22,972	22.2	
11. 県支出金	149,387	142,040	7,347	5.2	
12. 財産収入	97,113	74,558	22,555	30.3	
13. 寄付金					
14. 繰入金	10,379	43,646	△33,267	△76.2	
15. 繰越金	127,624	151,708	△24,084	△15.9	
16. 諸収入	62,990	51,080	11,910	23.3	
17. 町 債	112,100	74,600	37,500	50.3	
合 計	2,016,872	1,984,661	32,211	1.6	

●昭和62年度一般会計歳入決算財源別構成比



●62年度住民負担の状況

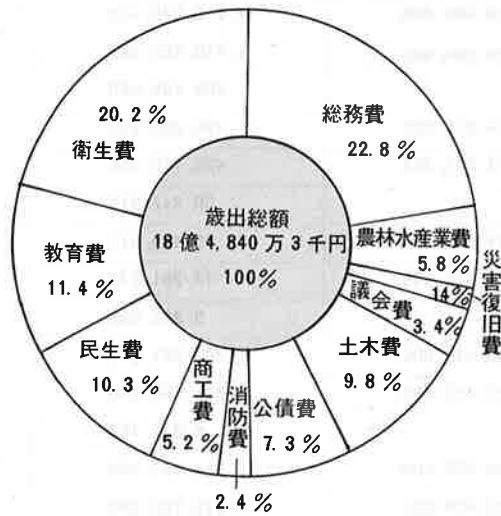
町民1人当たり・円	
町民税  30,034円	たばこ消費税  5,770円
固定資産税  36,535円	電 気  3,140円
軽自動車税  669円	入湯税  49円
特別土地保有税 1,023円	

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

●町税負担状況の推移

区分	町税総額 千円	一世帯当 り負担額 円	一人当 り負担額 円
30	13,618	6,753	1,396
35	15,166	7,408	1,635
40	27,435	13,266	3,112
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
62	642,623	257,668	77,220

●昭和62年度一般会計目的別歳出決算構成比



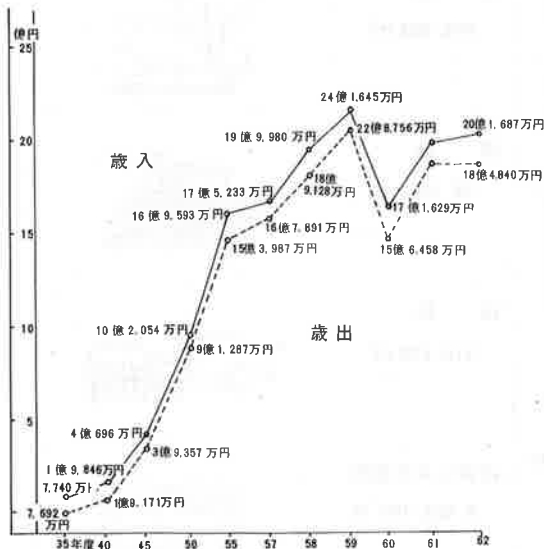
●昭和62年度一般会計決算

(目的別歳出)

(単位 千円)

科目	年度		比較	
	62年度 決算額①	61年度 決算額②	①-②③	③/②%
1. 議会費	62,958	58,862	4,096	7.0
2. 総務費	422,083	457,190	△ 35,107	△ 7.7
3. 民生費	190,762	181,626	9,136	5.0
4. 衛生費	372,825	236,728	136,097	57.5
5. 農林水産業費	107,063	199,114	△ 92,051	△ 46.2
6. 商工費	95,832	85,430	10,402	12.2
7. 土木費	181,327	133,544	47,783	35.8
8. 消防費	44,892	128,573	△ 83,681	△ 65.1
9. 教育費	210,715	189,644	21,071	11.1
10. 災害復旧費	25,001	57,072	△ 32,071	△ 56.2
11. 公債費	134,945	129,254	5,691	4.4
合計	1,848,403	1,857,037	△ 8,634	△ 0.5

●一般会計決算額の推移



(性質別歳出)

(単位 千円)

区分	年度		比較	
	62年度 決算額①	61年度 決算額②	①-②③	③/②%
1. 消費的経費	1,080,504	1,116,249	△ 35,745	△ 3.2
(1)人件費	516,464	506,545	9,919	2.0
(2)物件費	237,944	204,391	33,553	16.4
(3)維持補修費	2,499	2,922	△ 423	△ 14.5
(4)扶助費	12,313	13,735	△ 1,422	△ 10.4
(5)補助費等	239,026	218,538	20,488	9.4
(6)その他(積立金等)	72,258	170,118	△ 97,860	△ 57.5
2. 投資的経費	586,905	583,707	3,198	0.5
(1)普通建設事業	561,904	526,635	35,269	6.7
(2)災害復旧事業	25,001	57,072	△ 32,071	△ 56.2
3. 公債費	134,878	129,195	5,683	4.4
4. 繰出金	46,116	27,886	18,230	65.4
合計	1,848,403	1,857,037	△ 8,634	0.5

●財政の変遷〔普通会計〕

(千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力 指数
		歳入	歳出	差引残高				
57	1,447,456	1,774,402	1,696,538	77,864	812,529	393,986	477,672	0.476
58	1,563,647	2,017,822	1,905,899	111,923	831,696	420,031	465,848	0.487
59	2,450,909	2,436,408	2,300,864	135,544	894,053	441,501	500,694	0.491
60	1,344,447	1,736,930	1,579,733	157,197	954,976	523,785	484,363	0.512
61	1,632,489	2,003,240	1,870,721	132,519	981,921	517,409	518,741	0.523
62	1,658,484	2,016,872	1,848,403	168,469	1,009,665	535,396	534,717	0.535

●昭和62年度会計別決算

(円)

会計別	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	1,658,484,000	2,016,872,425
	歳出	1,658,484,000	1,848,403,342
	差引残額		168,469,083
国民健康保険特別会計	歳入	474,875,000	495,088,267
	歳出	474,875,000	436,145,754
	差引残額		58,942,513
プール特別会計	歳入	14,650,000	18,489,311
	歳出	14,650,000	13,281,278
	差引残額		5,208,033
老人保健特別会計	歳入	405,419,000	383,687,319
	歳出	405,419,000	377,460,616
	差引残額		6,226,703
総合計	歳入	2,553,428,000	2,914,137,322
	歳出	2,553,428,000	2,675,290,990
	差引残額		238,846,332

●水道事業会計決算 —昭和62年度—

●収益的収入及び支出
(収入)

(円)

区分	予算額	決算額	予算額に対する増減
水道事業収益	141,724,000	163,211,698	21,487,698
営業収益	72,291,000	91,418,133	19,127,133
営業外収益	69,433,000	71,793,565	2,360,565

(支出)

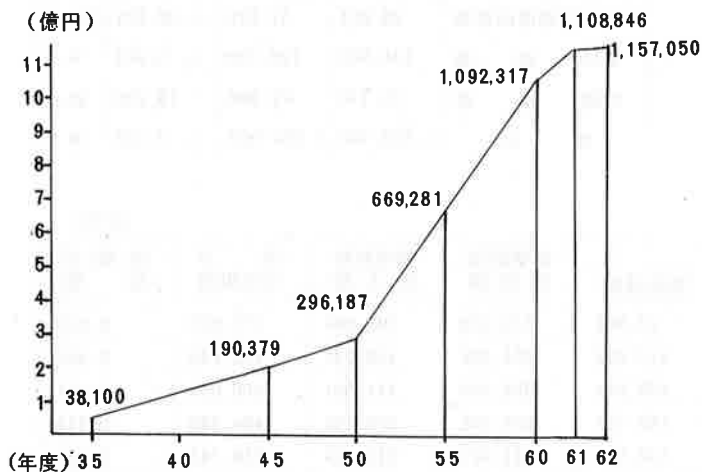
(円)

区分	予算額	決算額	不用額
水道事業費用	164,656,000	162,164,835	2,491,165
営業費用	138,124,000	135,829,965	2,294,035
営業外費用	26,334,870	26,334,870	0
予備費	197,130	0	197,130

●町の借金（地方債の推移）

(千円)

(億円)



●町有財産

昭和63年 3月31日現在

土地 653,289 m ²	
建物 26,250 m ²	
山林 276,245 m ²	
出資による権利 5,589,000 円	
土地開発基金 不動産 698 m ² 預金 24,000,000 円	
財政調整基金 1,200,552,840 円	

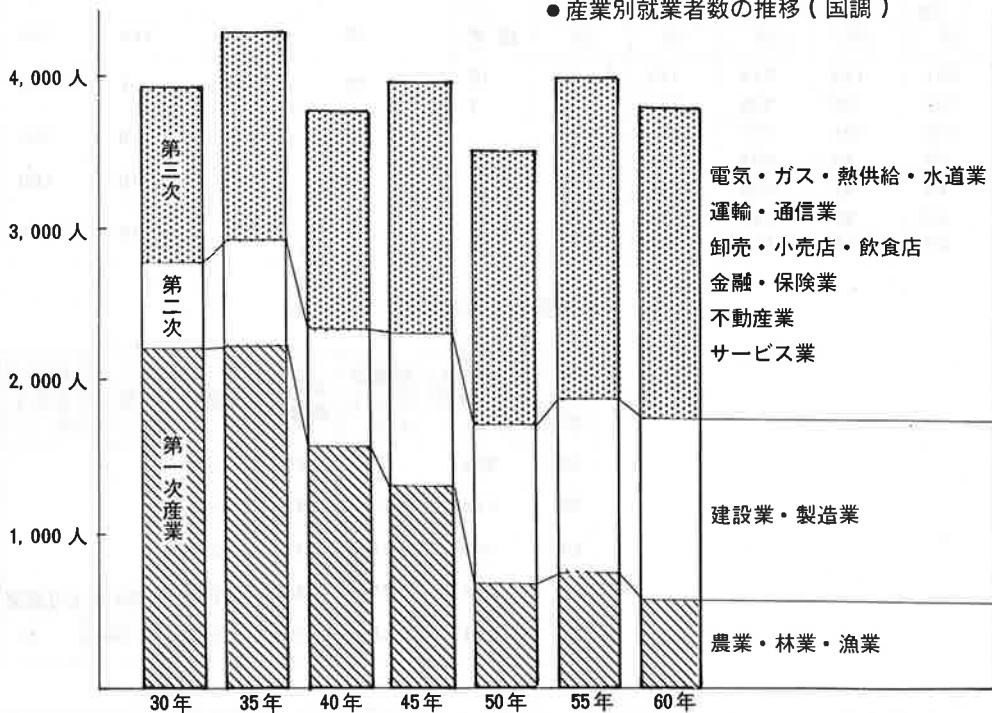
産 業

● 産業別就業者数

(国勢調査より)

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年		55年		60年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産・養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4
第2次産業	鉱業、建設業、 製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1
第3次産業	卸小売業、金融 保険業、その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5
	計	3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0

● 産業別就業者数の推移 (国調)



● 所得者別総所得金額

(単位：千円)

所得者区分	年次	57	58	59	60	61	62
給与所得者		4,169,229	4,449,951	4,632,720	4,073,028	4,793,182	5,094,797
営業所得者		363,436	356,436	383,393	426,386	430,168	455,082
農業所得者		8,370	8,370	6,321	25,662	11,678	19,831
その他事業所得者		418,184	418,184	389,608	486,756	408,416	411,069
その他の所得者		54,390	54,390	68,924	67,548	64,060	78,130
譲渡所得者		138,732	138,732	286,317	1,042,415	615,078	211,675
計		5,152,341	5,152,341	5,767,283	6,751,795	6,322,582	6,270,584

農 業

●農家数の動き

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
35	745	135	284	326
40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
62	374	34	30	310

●経営規模別農家数の動き

年 度	総 数	10~	30~	50~	100~	150	例 外
		30	50	100	150	以上	
		(a)	(a)	(a)	(a)	(a)	規 定
35	745	221	123	215	157	17	12
40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
62	374	60	79	151	58	23	3

●主要作物収穫面積の累計比較(a)

年 次	水 稻	麦 類	甘 藷
35	33,850	6,230	2,780
40	32,835	2,438	1,629
45	28,108	749	710
50	22,549	4	273
55	19,930	0	251
60	19,357	16	180
62	18,704	19	224

●農業機械所有台数

年 度	動力耕うん 機農用トラ クター	自脱型 コンバ イン	米麦用 乾燥機	田植機	軽 トラッ ク	普通 トラッ ク
50	398	3	305	141	62年度より調査	
55	478	113	322	210		
60	501	164	311	254		
61	525	178	303	259		
62	540	186	293	255		134

●農家の推移

年 度	農家 数 (戸)	増 減		農家 人口 (人)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町総世 帯数に 対する 農家率 (%)	町 総 人 口 (人)	町総人 口に対 する農 家人口 率(%)	経 営 耕 地 面 積			
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						総面 積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	其 他 (ha)
35	745	—	—	4,019	—	—	5.4	2,047	36.4	9,273	43.3	467	359	107	1
40	681	△ 64	△ 8.6	3,459	△ 560	△ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	449	355	91	3
45	608	△ 73	△ 10.7	2,882	△ 577	△ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	418	341	70	7
50	470	△ 138	△ 22.7	2,204	△ 678	△ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	300	247	46	7
55	430	△ 40	△ 8.5	1,941	△ 263	△ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	290	234	51	5
60	387	△ 43	△ 10.0	1,667	△ 274	△ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	283	226	51	6
62	374	△ 4	△ 1.0	1,597	△ 23	△ 1.4	4.3	2,495	15.0	8,370	19.1	278	223	49	6

漁

業

●年次別組合水揚高

(単位 千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	60 年	61 年	62 年	60 年	61 年	62 年
魚 類	210,408	230,108	186,949	420,050	598,593	490,452
貝 類	115,211	76,635	79,563	314,949	189,849	187,664
計	325,731	306,909	266,512	735,042	788,469	678,116

●おもな魚種別水揚量

(単位：トン)

魚種別	御 宿			岩 和 田		
	60年	61年	62年	60年	61年	62年
た い	1	2	3	3	5	6
わらさ	1	0	1	2	1	0
ひらめ	2	6	2	8	33	8
さ ば	0	1	1	0	0	0
ぶ り	0	0	0	0	1	0
い か	54	60	58	103	123	126
かつお	27	100	76	107	226	147
いなだ	0	0	0	9	132	73
め じ	3	2	10	2	4	23
まぐろ	5	2	1	2	1	0
さより	0	0	1	0	0	0
このしろ	16	0	0	0	0	0
鮑	15	9	7	51	26	12
さざえ	24	17	28	50	24	33
雑 魚	31	11	10	86	31	6
いわし	1,045	695	267	0	0	0
え び	0	1	0	4	5	4
計	1,224	906	465	427	612	438

●漁港施設

(62年)

項 目	御 宿		岩 和 田	
	御 宿	岩 和 田	御 宿	岩 和 田
漁	けい 船岸延長 (m)	486	745	
	外かく施設延長 (m)	686	1,032	
	最多入港トン数 (t)	21	12	
港	登録漁船隻数 (隻)	72	181	
	利用漁船隻数 (隻)	101	196	

●漁業協同組合の状況

(4.1 現在)

組 合	62			63		
	計	正組合員	準組合員	計	正組合員	準組合員
御 宿	198	122	76	195	119	76
岩 和 田	468	461	7	466	459	7

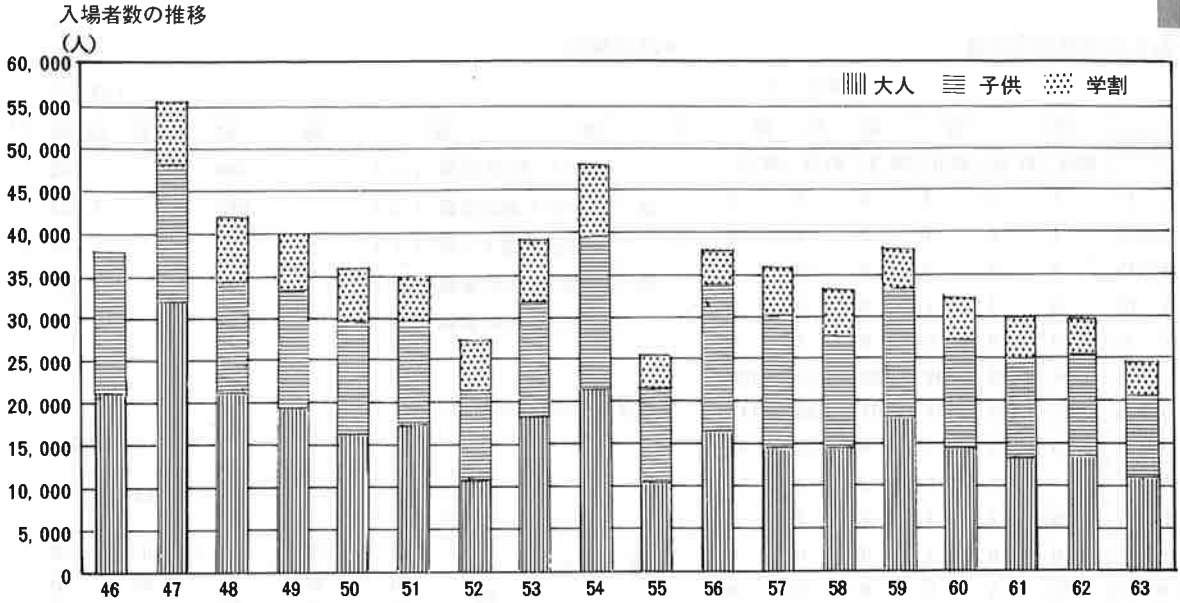
●漁種別水揚量

(単位：トン)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	60 年	61 年	62 年	60 年	61 年	62 年
ま き 網	1,045	695	267	0	0	0
刺 網	0	8	6	71	71	67
さ ば 釣	0	1	1	0	0	0
い か 釣	54	60	58	103	123	126
そ の 他 の 釣	83	120	97	152	296	200
そ の 他 の 延 釣	0	0	0	0	0	0
採 貝	39	18	35	101	50	45
採 藻	3	2	0	0	0	0
そ の 他 の 漁 業	0	2	1	0	72	0
総 計	1,224	906	465	427	612	438

観光

● 町営プール



● 観光施設及び入込数

区分	年度	40年	45年	50年	55年	60年	61年	62年
	観光客数 (人)	夏季	344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	1,525,000
	年間	396,000	1,310,000	1,311,000	1,041,000	1,659,000	1,779,000	1,041,000
旅館(軒)		8	20	21	17	17	17	20
民宿(軒)		51	200	250	270	244	244	260
貸家貸間(軒)		108	250	120	117	115	115	80
海の家(軒)		26	33	32	32	31	30	29
駐車台数(有料)		1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	31,763	30,095
御宿駅の収入(夏季千円)		19,591	51,389	74,019	89,195	140,748	143,754	137,041
観光収入(推計千円)		249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	3,713,577	2,855,450
町の観光投入額(千円)		4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	66,679	54,761

商工業

●工業（製造業）の状況

年	事業所数	従業者数	年間製造額 出荷額
59	36戸	475人	百万円 2,250
60	35	489	2,259
61	31	449	1,958
62	28	362	1,673

●商業の状況

商業中分類	事業所数	従業員数等		
		総数	男	女
全産業	552	2,783	1,420	1,363
農業	3	6	5	1
建設業	56	358	303	55
製造業	64	546	238	308
電気・ガス熱供給・水道業	2	8	7	1
運輸・通信業	10	107	96	11
卸売・小売業・飲食店	206	669	295	374
金融・保険業	2	25	11	14
不動産業	13	41	16	25
サービス業	190	966	403	563
その他	6	57	406	11

(61年7月1日)

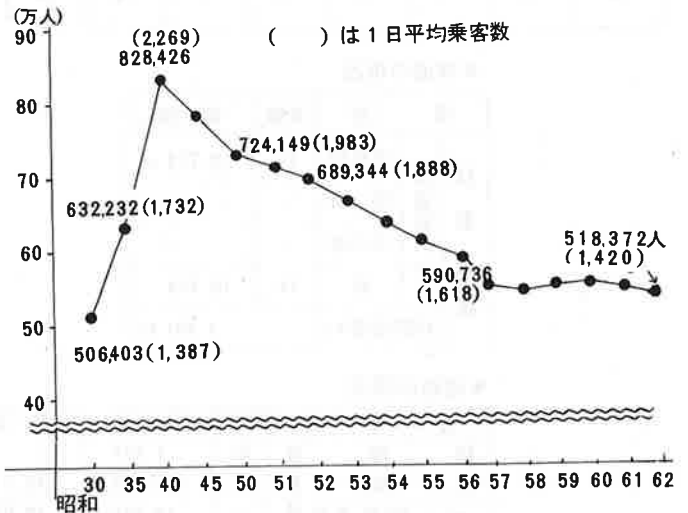
運輸・通信

●自動車保有台数

(63.4.1)

車種	御宿町	夷隅郡市計
普通乗用車	46	542
小型乗用車	1,726	19,668
トラック	237	3,701
貨客兼用車	193	2,039
バス	16	161
軽自動車 (4輪)	871	12,946
特殊車	4	286
計	3,093	39,343

●御宿駅乗客数



●電話加入状況

(12.31現在)

年次	開通加入電話数									公衆電話
	総数			単独電話数			共同電話数			
	総数	事務用	住宅用	総数	事務用	住宅用	総数	事務用	住宅用	
32	184	180	3	180	180	-	-	-	-	1
50	2,125	994	1,131	1,888	918	970	237	76	161	56
55	2,879	1,103	1,776	2,689	1,047	1,642	190	56	134	56
60	3,283	1,185	2,098	3,213	1,173	2,040	70	12	58	73
61	3,320	1,289	2,031	3,291	1,187	2,104	29	12	17	65
62	3,420	1,230	2,190	3,395	1,219	2,176	25	11	14	60

建設

●建築届出件数の推移

年	区分 専 用 住 宅	旅館店 舗簡易 宿泊所	共 同 住 宅	併 用 住 宅	工 場 倉 庫	その他	計
56	73	6	2	4	3	16	104
57	56	2	3	6	3	13	83
58	64	10	1	3	0	9	87
59	76	9	3	2	6	14	110
60	62	10	1	6	4	8	91
61	52	16	1	8	7	2	86
62	56	7	6	9	5	16	99

●林道の現況

項 目		本数	数 値
林 業 施 設	林道延長 (m)	市町村	14 13,773 m
		国 有	— —
		その他	— —
	計	14 13,773	
林野面積(Aa)		1,451 Aa	

●道路の現況

路 線 名		単位	町 道	県 道	国 道	計	
路 線	数	本	1,441	4	1	1,446	
	延長	m	242,048.2	12,710	3,754	258,512.2	
内 訳	改良済延長	m	48,746.0	10,630	3,754	63,130.0	
	未改良延長	m	193,302.2	629	—	193,931.2	
内種別	橋梁延長	m	90ヶ所 524.4	117	14	655.4	
	隧道延長	m	9ヶ所 448.9	2 71	6 339	858.9	
幅員別内訳	改良済	1.3m以上	m	38.9	7	—	45.9
		5.5m以上	m	14,067.6	7,132	3,532	24,731.6
		5.5m未満	m	34,639.5	3,491	222	38,352.5
	未改良	5.5m以上	m	—	—	—	—
		3.5m以上	m	—	—	—	—
3.5m未満	m	193,302.2	629	—	193,931.2		
自動車交通不能		m	140,437.6	—	—	140,437.6	
路面別内訳	舗装道	砂利道	m	177,461.9	—	—	177,461.9
		セメント系	m	4,354.6	84	339	4,777.6
		アスファルト系 高級	m	—	6,931	3,415	10,346.0
		アスファルト系 簡易	m	60,231.7	4,243	—	64,474.7
計		m	64,586.3	11,258	3,754	79,598.3	

●町道の内訳

(63. 4. 1)

項 目		数 値
道	実 延 長(m)	242,048.2
	面 積 路 面(m ²)	671,124.6
	改 良 済 延 長(m)	48,746.0
	舗 装 済 延 長(m)	64,586.3
	自動車交通不能道延長(m)	140,437.6
	歩 道 延 長(m)	5,523.3
	防 護 棚 延 長(m)	5,312.9
	歩 道 橋(m)	2ヶ所 27
路	市町村道と鉄道との交差箇所数	7
	うち立体交差箇所数	4

実延長の内訳	1.5m~4.5m (m)	193,302.2
	4.5m以上 (m)	48,746.0
	計	242,048.2

(63. 4. 1)

教 育

●町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(63. 5)

学校名	児童生徒数	学級数	教員数	事務員	調理員	用務員
御宿中	369	10 (1)	21	1	3	
御宿小	386	12 (1)	19	2	4	
岩和田小	90	6 (1)	11	1		
布施小	194	6 (1)	11	1		1
計	1,039	34 (4)	62	5	7	1

() はうち特殊

●児童・生徒数の推移

区分 年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
30	2,063	1,659	404
40	1,828	1,153	675
50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
61	1,136	755	381
62	1,080	714	366
63	1,039	670	369

●中学校卒業生進路状況

卒業年度	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就職数	%	人数	%	
35	71	51	66	48	2	1	139
45	130	72	42	23	8	5	180
50	128	88	10	7	8	5	146
55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
61	115	92	5	4	5	4	125
62	127	95	4	3	2	2	133
63	116	94	3	2	5	4	124

●社会教育施設利用状況

(人)

年 度	公 民 館		資 料 館		海洋センター体育館		同 プ ール	
	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 利用者数	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数
60	101.1	30,129	6.0	1,813	188	55,190	181	17,050
61	119.7	35,803	5.5	1,660	181	53,616	127	11,975
62	111.6	33,703	7.6	2,301	173	51,376	94	12,195

●文 化

名 称	所在地	施設・内容
公 民 館	久保 2200	調理実習室、和室、茶室 大ホール、大・中会議室 クラブ集会室、絵画工作 室、視聴覚室 図書室、蔵書約 6,500 冊
歴 史 民 族 資 料 館	久保 2200	展示室、町指定文化財、 メキシコ関係、考古、歴 史、農具、漁具関係 約 970 点展示

●スポーツ

名 称	所在地	施設・内容
町 営 運 動 場	久保 1135	野球場、テニスコート 3 面
須賀多目的広場	須賀 514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
町 営 プ ール	須賀 2208	50m プール 1、子供用 1 スライダープール 1
海 洋 セ ン タ ー	久保 1135 - 1	体育館、会議室 バスケットボール、バレーボール バドミントン、卓球 その他 (剣道、空手)
海 洋 セ ン タ ー プ ール	〃	25m プール 1、幼児用 1

防 災

●災害時の避難場所

名 称	所 在 地	電 話
御宿小学校	久保 2085	2009
御宿中学校	新町 68	2101
岩和田小学校	岩和田 1075	2254
岩和田青年館	〃 788	4392
サンドスキー場（避難集合地）	〃 1354	
布施小学校	上布施 909	2437
実谷区民館	実谷 586	5970
八坂神社（避難集合地）	須賀 525	
御宿家政高校	久保 1551	2911
B & G 海洋センター体育館	〃 1135	4143

●防災無線受信装置設置場所（固定系システム）

番号	名 称	番号	名 称
1	御宿隧道	15	高山田-2
2	御宿漁港	16	西林寺
3	中央海水浴場	17	上布施-1（新宿）
4	岩和田海水浴場	18	上布施-2（新宿）
5	岩和田漁港	19	上布施-3（小幡）
6	岩和田火の見脇	20	上布施-4（小幡）
7	六軒町	21	上布施-5（立山）
8	新町公園	22	上布施-6（新久井）
9	須賀町道	23	上布施-7（新久井）
10	須賀（久保）	24	上布施-8（実谷下）
11	御宿中学校	25	実谷上公会堂
12	町堂グラウンド	26	七本-1
13	高山田-1	27	七本-2
14	第6分団器具置場		

●消防の施設状況

63. 3. 31

消 防 ポ ン プ 車	7
水 そう 付 ポ ン プ 車	1
小 型 ポ ン プ	3
指 揮 広 報 車	1
消 火 水 そ う	82
消 火 栓	58

●移動系システム

役場に設置された基地局無線装置と車携帯型陸上移動局による情報の伝達、収集システムです。行政事務の連絡や災害時の情報収集を行います。

基地局（制御器6台）	1局
陸上移動局、車携帯型	17局
ショルダー型	8局
携 帯 型	3局

●消防団

団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
1	3	15	8	9	49	180	265

●交通事故発生件数の推移

（1. 1～12. 31）

●火災事故発生件数

年 次	火 災 件 数				焼 失 面 積 (㎡)		損 害 額 (千円)
	総 数	建 物	山 林 原 野	そ の 他	建 物	山 林 其 他	
58	1	1	0	0	452	0	9,700
59	0	0	0	0	0	0	0
60	0	0	0	0	0	0	0
61	3	2	1	0	212	1,500	12,957
62	0	0	0	0	0	0	0

年	区 分		
	発 生 件 数	死 者 数	負 傷 者 数
58	34	0	43
59	40	0	64
60	49	0	71
61	31	1	39
62	54	1	82

●胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
61年度	2,798人	378人	13.5%
62年度	2,519人	401人	15.9%
63年度	2,500人	410人	16.4%

保 健

●乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
63年度	2,096人	218人	10.4%

●子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
61年度	2,497人	185人	7.5%
62年度	2,243人	234人	10.4%
63年度	2,096人	214人	10.2%

●健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
61年度	1,729人	966人	55.9%
62年度	1,617人	906人	56.0%
63年度	1,322人	757人	57.3%

国 保 ・ 年 金

国民年金受給者の状況

●福祉年金(円)

年 度	種別	老 齢		障 害		合 計	
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
60		313	85,176,173	59	27,138,398	372	112,314,571
61		283	92,371,000	57	39,296,600	340	131,667,600
62		247	70,873,797	55	41,502,200	302	112,375,997

●国民健康保険加入者及び給付の状況

区 分 年 度	加 入 者			給 付	
	世帯	加入者	加入率	給付額(千円)	増加率
60年度	1,609	4,462	64.5%	367,043	-
61 "	1,625	4,446	65.6%	392,239	106.9
62 "	1,630	4,379	65.4%	398,833	101.7

●拠出年金(円)

年 度	老 齢 年 金		通 算 老 齢 年 金		障 害 年 金		母 子 年 金		遺 児 年 金		寡 婦 年 金		合 計		被 保 険 者 数
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
60	1,039	325,791,000	143	19,850,000	44	30,858,000	12	8,921,000	-	-	5	1,290,000	1,243	386,710,000	2,383
61	老 齢 年 金		通 算 老 齢 年 金		障 害 年 金		母 子 年 金		遺 児 年 金		法改正(61年4月から)				
	老 齢 基 礎 年 金		死 亡 一 時 金		障 害 基 礎 年 金		遺 族 基 礎 年 金								
61	1,041	337,679,000	149	21,461,000	41	30,735,000	12	9,528,000	-	-	5	1,985,000	1,274	410,779,000	2,495
61	26	9,391,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
62	老 齢 年 金		通 算 老 齢 年 金		障 害 年 金		母 子 年 金		遺 児 年 金		法改正(61年4月から)				
	老 齢 基 礎 年 金		死 亡 一 時 金		障 害 基 礎 年 金		遺 族 基 礎 年 金								
62	1,084	352,664,800	155	23,239,900	42	31,386,800	9	7,517,500	-	-	5	1,998,800	1,381	450,089,900	2,424
62	76	26,680,500	2	200,000	9	5,795,100	1	626,500	-	-	-	-	-	-	-

環 境

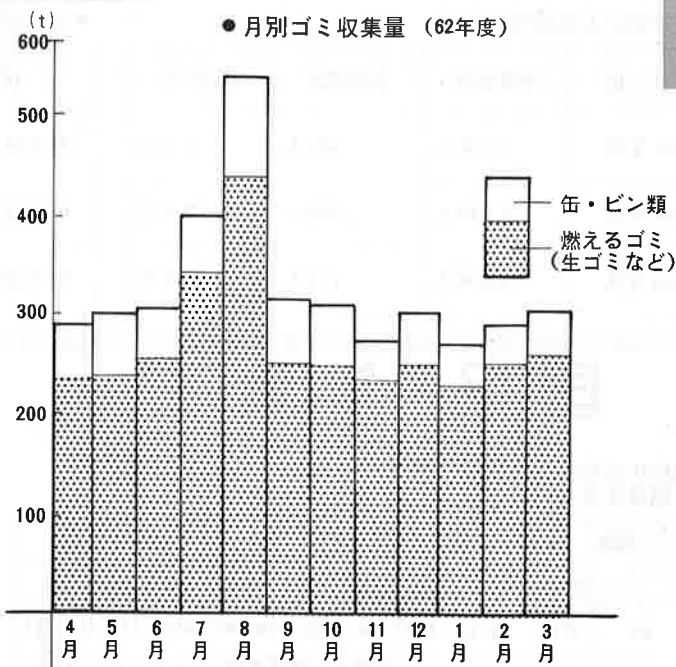
●ゴミ収集の状況

年度	区分	可燃物	不燃物	合計	燃却日数
60		2,650 ^t	489 ^t	3,139 ^t	166 ^日
61		3,152	439	3,591	153
62		3,218	544	3,762	155
63 (4~9月)		1,864	422	2,286	82

●し尿処理施設 (夷隅郡環境衛生組合)

処理計画人口(人)	8,173	
処理人口(人)	5,015	
年間総排出量(kℓ)	2,227	
年間総収集量(kℓ)	2,227	
年間総処理量(ℓ)	下水マンホール投入	0
	処理施設処理	2,227
	その他	0
	計	2,227
収集職員数(人)	3	
バキューム車	1	

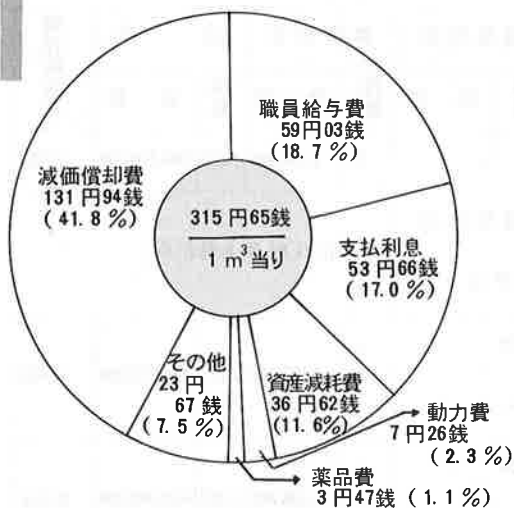
●月別ゴミ収集量 (62年度)



上 水 道

●水道ダイジェスト (62年度決算から)

区 分	単 位	61年度	62年度	増 減
年度末給水人口	人	5,785	4,426	△ 1,359
年度末給水戸数	戸	1,890	1,551	△ 339
年間取水量	m ³	485,708	554,300	68,592
年間給水量	m ³	469,358	528,965	59,607
年間使用水量	m ³	443,907	491,727	47,820
1カ月平均給水量	m ³	39,113	44,080	4,967
1カ月平均使用水量	m ³	36,992	40,977	3,985
1日最大給水量	m ³	3,670	3,935	265
1日最大使用水量	m ³	3,468	3,754	286
1戸1カ月平均使用水量	m ³	19.6	26.4	6.8
1人1日平均使用水量	ℓ	210	304	94
月平均給水収益	千円	6,121	6,733	612
給水原価	円・銭	306.85	315.65	8.8
資本費	円・銭	201.12	185.54	△ 15.58
施設利用率	%	21.5	24.1	2.6



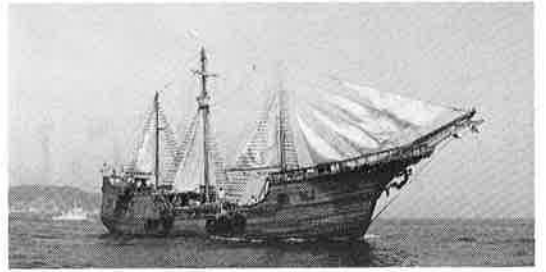
・水1トンをつくるのに必要な費用

姉妹都市

【姉妹都市】

アカプルコ市（メキシコ）

昭和53年 8月 姉妹都市協定締結



昭和63年は、日本とメキシコが友好通商条約を締結して百周年、御宿とアカプルコが姉妹都市となって十周年という記念すべき年であった。メキシコからは、平和を訴える帆船マリガランテ号が御宿へ寄港。御宿町からは友好親善使節団がメキシコを訪問し、新たな国際交流へと発展した。

日墨修好百周年を記念し御宿へ寄港したメキシコの帆船「マリガランテ号」

指定文化財

区分	番号	名称	所在地 所在地 所在地	所有者 又伝承地	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田 626	御宿町	41. 12. 2
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	御宿町久保 1, 916	岩瀬 禎之	49. 3. 27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	御宿町浜 572 - 1	妙音寺	"
"	3	亀甲地双鶴鏡	"	"	"
"	4	白銅鏡	"	"	"
"	5	木造大日如来坐像	御宿町上布施 1, 474	真常寺	"
"	6	木造如意輪観音坐像	"	"	"
"	7	十王堂縁起	御宿町六軒町	十王堂	"
"	8	最明寺夫婦銀杏	御宿町須賀 668	最明寺	53. 3. 27
"	9	旧役場大蘇鉄	" " 160	御宿町	"
"	10	双盤	" " 668	最明寺	54. 6. 27
"	11	小幡神楽囃子	" 上布施小幡区	保存会	57. 6. 29
"	12	高山田神楽囃子	" 高山田区	保存会	57. 9. 28
"	13	千人塚供養塔	" 新町字千人塚	妙昌寺	59. 1. 11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十王堂	"
"	15	伊勢参宮絵馬	" 上布施	八幡神社	"
"	16	真常寺石塔	" 上布施 1, 474	真常寺	"
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍律像	" 六軒町	十王堂	60. 2. 12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜 618 - 1	観音寺	"
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀 668	最明寺	"
"	20	紙本著色大田喜藩陣列之図	" 久保 2, 200	御宿町	61. 1. 14
"	21	旧布施村絵図	" 実谷	実谷区	62. 2. 19
"	22	千箇寺参御首題帳	" 上布施 1, 800	吉野 信	"
"	23	孝女竹永志保の碑	" 上布施 827	上布施区新宿	62. 10. 27

御宿町暮らしのダイジェスト

<p>人口密度</p>  <p>1 km² に 324 人</p>	<p>家族</p>  <p>1 世帯に 3.3 人</p>	<p>転入</p>  <p>1.4 日に 1 人</p>	<p>転出</p>  <p>1 日に 1 人</p>
<p>結婚</p>  <p>13 日に 1 組</p>	<p>離婚</p>  <p>33 日に 1 組</p>	<p>出生</p>  <p>6.5 日に 1 人</p>	<p>死亡</p>  <p>4 日に 1 人</p>
<p>火災</p>  <p>0 件</p>	<p>交通事故</p>  <p>6.8 日に 1 件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1 人 1 日平均 304 ℓ</p>	<p>ゴミ</p>  <p>1 日平均 10.3 トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民 90 人に 1 人 (63 年 7 月 1 日現在)</p>	<p>教員</p>  <p>小学生 16 人に 1 人 中学生 18 人に 1 人 (63 年 5 月 1 日現在)</p>	<p>商店</p>  <p>16 世帯に 1 店</p>	<p>町税</p>  <p>1 人当たりの負担 77,220 円</p>
<p>自動車</p>  <p>1 世帯に 1.2 台</p>	<p>電話</p>  <p>1 世帯に 1.4 台</p>	<p>救急車出動</p>  <p>2.9 日に 1 件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民 1 人当たり 222,110 円</p>

御宿の唄

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 すすらん姉妹

一 あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり
忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二 星の数ほど 寄せては返す
色もとどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町

三 月のあかりに 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻ろか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一 星みれば はろかに香く
雲みれば つきせぬ想い
去りゆきし 君は話わねど
御宿の ああ 海の恋しさ

二 風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三 朝には あしたの祈り
夕には ゆうべの願い
嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはただ ああ 幸をこののみ

房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタ
海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
ハソリヤ ヤツサイ
ヤツサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
潮は黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風
あんな男を梶子にもつて
ぬれて苦労が ぬれて苦労が
してみたい

お前や水底 わしや風の中
つなは一筋 つなは一筋
血が通う

板子一枚いといはせぬが
ぬれるお前が ぬれるお前が

いとおしい

房州御宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに
袖しぼる

舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしやお前の わたしや
お前の つなまかせ

御宿離し

作詩・作曲 加藤まさを

編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

一 トンとトンとトンと男波が躍る
躍る男波に抱かれて歌う
女波いとしや月夜の晩は
御宿離して浮かれ出す

二 山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が
月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三 磯の華かよ岩和田の漁女は
浮いて沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四 昼は砂丘に浜屋顔が
夜は砂丘に宵待草が
粋な浜風花から花に

若い二人の燃える頬に

五 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯パン無しの
可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

月の沙漠

作詩 加藤まさを

作曲 佐々木すくる

一 月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きましたた
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きましたた

二 金のかめには 銀のかめ
銀のかめには 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありましたた

三 先のくらは 王子さま
あとのくらは お姫さま
乗ったふたりは あそろいの
白い上衣を 着てました

四 広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどこへ 行くのでしょ
おほるにけぶる 月の夜を
ついのらくだは とほとほと
砂丘を越えて 行きましたた
だまって越えて 行きましたた



童謡「月の沙漠」記念像



日西墨三国交通発祥記念碑(メキシコ記念塔)

町内の官公署・団体施設一覧

●役場関係

〒 299-51
市外局番 0470

御宿町役場	久保 2200	☎ (68) 2511
公民館	〃 2200	☎ (68) 2947
歴史民族資料館	〃 2200	☎ (68) 4311
御宿町児童館	新町 419	☎ (68) 4542
岩和田児童館	岩和田 788	☎ (68) 4392
社会福祉協議会	久保 2200	☎ (68) 2511
御宿海洋センター	〃 1135-1	☎ (68) 4143
清掃センター	〃 1041	☎ (68) 4613
浄水場	実谷 519	☎ (68) 4855
町営運動場(管理棟)	久保 1135	☎ (68) 4794

●学校施設

御宿保育所	久保 2180	☎ (68) 2459
岩和田保育所	岩和田 926	☎ (68) 2944
御宿小学校	久保 2232	☎ (68) 2009
岩和田小学校	岩和田 1703	☎ (68) 2254
布施小学校	上布施 909	☎ (68) 2437
御宿中学校	新町 68	☎ (68) 2101
県立御宿家政高等学校	久保 1511	☎ (68) 2911

●警察

駅前駐在所	須賀 188	☎ (68) 2100
六軒町駐在所	六軒町 488	☎ (68) 2719
布施駐在所	上布施 875	☎ (68) 4499

●その他

御宿駅	須賀 191'	☎ (68) 2053
御宿郵便局	新町 397	☎ (68) 2871
布施郵便局	上布施 1400	☎ (68) 2870
御宿町漁業協同組合	浜 2164	☎ (68) 2611
岩和田漁業協同組合	岩和田 945	☎ (68) 2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀 167	☎ (68) 2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田 1171-3	☎ (68) 2654
御宿町観光協会	久保 2200	☎ (68) 2414
御宿町体育協会	〃 2200	☎ (68) 2947
御宿町商工会	〃 2200	☎ (68) 2818
御宿町商店振興会	〃 2200	☎ (68) 2818
御宿町民宿組合	須賀 191	☎ (68) 2325
御宿町旅館組合	〃 191	☎ (68) 4419